

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院藏)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

恵亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乗院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

上寺山両詣り 第十六回上寺山迎春ライトアップ

豊原北島神社と餘慶寺が隣接する上寺山では、行く年と来る年に願いを込めて、神と仏にお詣りができ、両方のおかげをいただけることから「両詣り」と名付けていろいろな行事を実施しています。

餘慶寺では古いお札のお焚き上げ、除夜の鐘撞き、八角堂での楊漙頂(お清め)、薬師堂での護摩祈禱などがつとめられます。特に新年が厄年に当たる方は、護摩祈禱での厄除けをおすすめいたします。

また、今年もカウントダウンイベントとして願い事を書いた白い風船を夜空へ飛ばします。

あたたかい無料接待やフリーマーケットの年越しそばなども用意し、

皆様のお詣りをお待ちしております。

詳しくは、配布しておりますチラシをご覧ください。

年末年始、上寺山へ是非ともおいでください。



餘慶寺の鐘を撞き、除夜の鐘を奏でましょう。

餘慶寺 冬の行事

お焚き上げ法要
(東向き観音石像前)

十二月三十一日(木) 二十二時
古いお札、だるま、お守りなどを過ぎゆく一年に感謝の意をこめてお焚き上げいたします。

除夜の鐘つき(餘慶寺鐘楼)

十二月三十一日(木) 二十三時四十五分
除夜の鐘撞きです。先着一〇八名の方には「鐘撞きの証」をお渡しいたします。県指定重要文化財の餘慶寺の鐘で、新年を迎える除夜の鐘を撞きましょう。

修正会(餘慶寺本堂)

一月一日(金)・二日(土) 十時
一月三日(日) 八時
お正月のお勤めです。新年を迎え、上寺山と檀信徒の皆様の一二年間の家内安全、無病息災をお祈りする大般若転読法要を行います。

薬師護摩供(薬師堂)

十二月三十一日(木) 二十一時〜翌一時半
一月一日(金)・二日(土) 十一時〜十六時

楊漙頂のお清め(八角堂)

十二月三十一日(木) 二十一時〜翌一時半
一月一日(金)・二日(土) 十一時〜十六時

各院からのお知らせ

恵亮院より

毘沙門天王縁日護摩祈禱
(於 恵亮院毘沙門堂)
毎月三日 午前十時

本乗院より

写経会(於 本乗院客殿)
毎月第三日曜日
十一月〜三月 午前七時

定光院より

大聖歡喜天縁日(於 定光院)
毎月十五日 早朝より
※病氣平癒等のご祈禱は随時受付してあります。

餘慶寺より

薬師縁日(於 薬師堂)
毎月八日 午前十時
(八月はありません)
護摩供養をしています。
ご祈禱のお申し込みは納経所へお願いします。
観音縁日(於 本堂)
毎月十八日 午前八時
みんなで観音経をあげます。
お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。

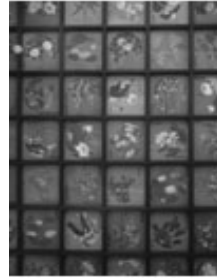
新年の各種授与品は回廊にて！初詣の際はお立ち寄りください。

特別寄進のおすすめ 八角堂天井絵

八角堂には、永遠に枯れない花々がお供えされています。お堂の天井を見上げると、木目を交互に配置した杉板に、一枚一枚美しい花の絵が、極彩色ゆたかに鏤められています。

天井絵は、特別寄進の二環として六十二口をご用意しておりましたが、残りわずかとなりました。どうぞ皆様のご芳志をお寄せください。寄せられましたご浄財は、諸堂修理などの境内整備のために活用させていただきます。

ご寄進は、一口十五万円でお受けしております。お好きなお花を選んでくださいれば、そこに餘慶寺住職がお施主名とお願いの墨書をし、後世にまで功德が伝えられてゆきます。



薬師堂からのお知らせ

薬師堂の護摩供養

十二月三十一日(木) 二十一時～翌二時半
一月一日(金) 二日(土) 十一時～十六時

年末年始の両詣りの際に厳修します。

ご祈禱のお申し込みは納経所へお願いいたします。両詣りの際には薬師堂にて受け付けております。ご祈禱料は、五千元、三千元。添え護摩木は三百円です。

なお大晦日(元日)にご祈禱を受けた方へは、福もちをお渡します。(数に限りあり)

願い事としては...

- 家内安全 商売繁昌
- 学業成就 心身健全
- 安産成就 良縁成就
- 心願成就 病氣平癒
- 厄難消除 他



平成28年 年回表

年回	寂年
一周忌	平成二十七年
三回忌	平成二十六年
七回忌	平成二十二年
十三回忌	平成十六年
十七回忌	平成十二年
二十三回忌	平成六年
二十五回忌	平成四年
二十七回忌	平成二年
三十三回忌	昭和五十九年
五十回忌	昭和四十二年

平成 28 年 厄年一覽

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24歳 平成5年生	25歳 平成4年生	26歳 平成3年生	18歳 平成11年生	19歳 平成10年生	20歳 平成9年生
41歳 昭和51年生	42歳 昭和50年生	43歳 昭和49年生	32歳 昭和60年生	33歳 昭和59年生	34歳 昭和58年生
60歳 昭和32年生	61歳 昭和31年生	62歳 昭和30年生	36歳 昭和56年生	37歳 昭和55年生	38歳 昭和54年生
歳はかぞえ歳です。			60歳 昭和32年生	61歳 昭和31年生	62歳 昭和30年生

楊滝頂のお清め (八角堂)

十二月三十一日(木) 二十一時～翌二時半
一月一日(金)・二日(土) 十一時～十六時

春の芽吹きを象徴する楊の枝を使って千手観音様にお供えした清らかな霊水を皆様の頭に注いで清めて頂きます。本堂へご参拝の後、八角堂へお詣りください。お清めを受けられた方全員に御守りカードを謹呈いたします。



ひとくち法話

心のガソリン

車を運転される方で、ガソリンスタンドには行ったことがない、という方は大変珍しいと思います。車をよく利用されている方は、一週間に数回、あまり使われない方でも一ヶ月に数回はガソリンスタンドに足を運ばれているのではないのでしょうか。

それは何故(なぜ)でしょうか？

いくらいい車でも、燃料がないと動けないからであります。燃料の残量目盛りを見て、まだ半分ほど残っていても、不安になって満タンにされる方もいらっしゃると思います。大概の方は、燃料が切れる寸前ではなしに、ある程度余裕をもつてガソリンスタンドに行かれると思います。

では、私たち人間を考えてみましょう。心のガソリンは切れてないでしょうか。いつも使う心のガソリンスタンドはありますか？

「いのち」という言葉があります。ある東洋文化学者が、「いのち」とは、本来「イのチ」であつて、「イ」は「息」、「チ」は「力」のことだと言っておりました。「息」の「力」とは、「息づく力」「息吹く力」「生きる力」のことでもあります。

ここに餘慶寺では、境内全体に歴史と信仰の「息づく力」が満ちております。心の燃料を継ぎ足すのに、是非とも餘慶寺「心のガソリンスタンド」をご利用ご愛顧くださればと願っております。燃料が切れる寸前ではなしに、ある程度余裕をもつて「心のガソリンスタンド」へ給油にお越しください。

餘慶寺で息吹く力を注いでもらい、生きる力として燃やしてくださいれば幸いです。いつでもお待ちしております。



寺宝展報告

十月十二日(月祝)、恒例となりました餘慶寺寺宝展第十三回を開催いたしました。

本堂において「平成のご開帳大修理の芳名軸」や「涅槃図」などの展示・解説、薬師堂において「薬師如来」など普段お詣りできない仏様への特別拝観を実施し、皆様に息吹く力を注げるよう努めさせていただきました。また、午後からの特別講演では、昨年引き続き九州国立博物館の望月規史先生をお招きし、『餘慶寺に伝わる梵音具々音を鳴らす仏具類』という題目で講演をしていただきました。六十名を超す大勢の方が聴講に訪れ、餘慶寺各院にある梵音具の特徴の解説や実際の音の実演などがあったという間の二時間半でした。

さらに、MRTRフルートカルテットによるコンサートや今城コミュニティによる各種催し、寺庭婦人による「もみじカフェ」なども行われ、訪れた皆様の顔が自然と和まれていたのが印象的でした。



「上寺の梵鐘」帰山日決定のお知らせ

上寺の梵鐘が十二月十六日に九州国立博物館から帰山することが決まりました。

当初は展示終了後速やかに帰山する予定でしたが、梵鐘を吊す金具に亀裂があることが判明したため、新たな吊金具を新調して設置し直すことになりました。上寺の鐘の音が再び響き渡るまでもうしばらくお待ちください。当日の運び入れ作業は十三時半～十六時の予定で、作業の様子を広く一般公開いたします。

毎月十八日は観音縁日。午前八時より観音経を読誦します。

毎月第二日曜日 午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

十三仏について〜大日如来〜

大日如来(十三回忌)

十三回忌の仏さまは大日如来です。

そのお名前の通り、大きな太陽のような仏さまです。知恵の光によつて世の中を分けへだてなく平等に明るく照らしてください。さる仏さまです。

仏教では大日如来さまは宇宙の中心の仏さまであり、世の中のあるところあらゆるものが、大日如来さまから生まれたと考えます。

大日如来さまの知恵はダイヤモンドのように堅く壊れることがないほどの強さを持っており、世界中のすべての事を理解する事ができると言われています。

太陽の光には影ができませんが、大日如来さまの光はどこも影ができません。いかにあらゆる場所を照らします。そしてその優しい心はどんな人にも平等に注がれています。

す。このような

大日如来さまの知恵と優しさは、永遠に不滅なのです。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館(十四時〜)



今後の予定

☆『落語公演』

講師 岡山大学落語研究会

一月十七日(日) 二名 様

☆『お経に親しむ(三)』

講師 恵亮院名誉住職

二月二十四日(日) 横野祐彰 師

☆『未定』

講師 吉祥院住職

二月二十一日(日) 大石恵海 師

☆『備前刀剣王国の話』

講師 備前長船刀剣博物館学芸員

二月十三日(土) 植野哲也 様

☆『分かりやすい仏教講座〜十王信仰〜三月十二日(土)』

講師 定光院・円乗院住職

三月十二日(土) 西野祐誠 師

☆『日本刀の作り方』

講師 備前長船刀剣博物館刀鍛冶

三月二十一日(月祝) 安藤広康 様

※聴講無料です。

お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

編集後記

今年も一年を振り返る時期がやってきました。皆様にとつて今年はどういう年でありましたでしょうか。良い年だった人もいればそうでなかった人もいます。とでしよう。

何かと忙しい時期ですが、しっかりと振り返って、反省し、新たな計画を立てて来年をより良い一年にしていきたいと思います。